

市長室からこみちは

市長日記 『宇宙への旅立ち』

国東市長 三河 明史

「宇宙への旅立ち」などと言うと少し早すぎる気がしますが、今日の講演を聞いてみると、あなたがち大げさではないように思えてきました。12月12日にアストホールで、「スペースポート推進セミナー」宇宙港がもたらす大分の未来」(大分県東部振興局主催・国東市共催)と題する講演会を開催しました。

まず、一般社団法人スペースポートジャパン理事の青木英剛氏が「宇宙港の整備の現状と将来の宇宙旅行について」と題して講演。続いて、株式会社Synspaceの執行役員ジェネラルマネージャーの浅田正一郎氏が「世界の衛星打上げロケットと大分宇宙港の未来」と題して講演されました。講演会の進行役は、株式会社Minsora代表取締役CEOで宇宙ナビゲーターの高山久信氏です。いずれも、大手企業で宇宙ロケットの開発や打ち上げに関わってこられた専門家の皆さんなのです。

私も同席させていただいた一昨年4月の大分県とヴァージンオービット社とのパートナーシップ協定締結の記者発表から、1年8か月が過ぎました。今年はいよいよ、大分空港から第一号のロケット打ち上げが期待される年になります。考えれば夢のような話です。かつて、ソ連(現ロシア)の宇宙飛行士のガガーリン少佐が人類として初めて、その後テレシコワさんが女性として初めて宇宙を飛んだのが約60年前、そ

してアメリカのアームストロング船長が月に初めて降り立ったのが私が大学3年生の時です。52年が経ちました。当時の宇宙開発は、アメリカとソ連という超大国が国の威信をかけて取り組んだ大プロジェクトでした。しかし、今は民間企業が商業ベースでどんどん宇宙ロケットを打ち上げる時代になったのです。隔世の感があります。

講演の中で、「水平型宇宙港の大分空港からも衛星搭載だけでなく、有人のロケットも打ち上げるときが必ず近いうちに来る。技術はすさまじい勢いで進歩している」というような話がありました。私たちの考える以上の速度で、宇宙技術は進歩しているようです。

すでに海外では、火星ロケットの打ち上げ実験もされており、火星旅行や火星移住を考えたとき、帰りの燃料をどうするかという段階になっていくところ、数千人の応募があったというのですから驚きです。火星まで行くことを考えると、月は中継基地に過ぎず、あくまで火星への移住を目的に計画を作成しているようです。火星の重力は地球の3分の1。しかし地下に氷があるため、その氷を分解して酸素や燃料を作り暮らすのだそうです。ひよつとすると、私が生きている内に火星への旅行ができるかもしれないですね。

今夜も晴れ渡り、漆黒の冬の夜空には美しく星がきらめいています。



写真提供: ヴァージンオービット社



副市長の市政コラム 種もまく

年頭の決意表明 ～職員を代表して～

昨年は、ワクチン接種の対応に明け暮れた一年となりました。市民の不安が募る中、市民病院と医師会の綿密な連携で、県下でもトップクラスの速さでの接種と、高い接種率を実現し、市民の安心に寄与できたと自負しています。

本年はスペースポートである大分空港を軸に、関連企業の誘致や新たな産業創出、来訪者への観光施策などの取り組みを進めます。市内には商工会青年部などの民間による動きもあり、大いに期待するところです。また、市内全域でのケーブルテレビ施設の光化が3月末に完成します。これで、生活・就学・移住定住に関するインフラ環境が整いますので、人口の減少に歯止めをかけたいと考えています。そして、国東高校の生徒を支援する事業「公営進学塾」がスタートします。「市内外の中学生から選ばれる高校」になると信じています。もちろん、こうした攻めの事業を行いつつも、市の健全財政の維持に努めます。

「将来にわたって活力ある持続可能な国東市を創る」という目標達成に向け、職員一丸となって果敢に挑戦し続ける覚悟です。(国東市副市長 吉水 良伸)



▲スペースポート(宇宙港)に選ばれた大分空港



くにさき 国保
だより

【問合せ】市民健康課 国保年金係 ☎72-5166



市民健康課 辻 まり子

黄色い封筒が目印です。

令和4年度 健診希望調査と返信のお願い

令和4年度の特健診(期間: 令和4年5月～令和5年2月末まで)を「どこで受けるか」希望調査を行います。詳細は、2月中旬に世帯主さま宛てに送付する黄色封筒の資料をご覧ください。

- ★健診希望調査の対象者: 国東市国民健康保険加入者(19～74歳)
- ・希望する受診方法を下記の受診方法①～③から1つ選択し、同封の返信用はがきにてお知らせください。
- ・人間ドックを受診希望の方は、同封の返信用ハガキで申し込み・予約ができます。
※令和4年5月～令和5年2月末までの希望月
※後期高齢者(75歳以上)の方は、4月以降に直接健診機関へお申し込みください。

受診方法	対象年齢(令和4年3月末時点)
①住民健診	19～74歳
②人間ドック (国東市民病院・厚生連健康管理センター)	40～74歳
③大分県内委託医療機関 (かかりつけ医)	

提出期限
3/3(木)まで



今月の体成分分析器測定週間 ～自分のからだを知ろう週間～
2月14日(月)～18日(金)です。(場所: 本庁市民健康課窓口前)



～野菜プラス1皿～

白菜の洋風炒め



【1人当たり】
エネルギー 117kcal
野菜使用量 83g
食塩相当量 0.5g

白菜は低エネルギーで食物繊維が豊富な食材です。なかでも、腸を刺激して排便をスムーズにする不溶性食物繊維を多く含みます。味にクセがなく、どんな味付けにも相性が良いので、いろいろな料理に利用してみてください。

2月CATV出演者
国東町富来浦
元兼 里美さん



心も体も
元気になる味ですね!
旬の白菜を使って
また作ってみます。

■材料(2人分)

- 白菜……………中2枚
- ベーコン……………2枚
- にんにく……………ひとかけ
- オリーブ油……………小さじ1
- 粉チーズ……………大さじ1
- ブラックペッパー……………少々

■作り方

- ①白菜は3cmくらいの幅でざく切りにする。ベーコンは細切り、にんにくは薄い輪切りにしておく。
- ②フライパンに、にんにくとオリーブ油を入れてから火をかけ、にんにくの香りが立ってきたらベーコンを炒める。さらに白菜を加えて強火でさっと炒め、最後に粉チーズを加えてから器に盛り、ブラックペッパーをかけたら完成。